

式 辞

令和四年度新入生二七三名の皆さん、入学おめでとう。保護者の皆様におかれましては今日この日を迎えられ感慨もひとしおかと拝察いたします。心よりお祝い申し上げます。

また、本日は学園長先生はじめ、同窓会会長様・PTA会長様のご臨席を賜り、午前・午後の二部制ではありますが、無事入学式を挙行できまますこと、教職員一同を代表し厚く御礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、本日入学を許可致しました。義務教育を終えいよいよ高校生です。気持ち新たに、高校生活の目標や将来の夢を抱いているでしょうか。遡ること二年余り、新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、以後今日に至るまで、未曾有の戦いが続いています。中学校生活の中でも、本来あるべき時間が奪われ、十分に学習やクラブ活動、学校行事ができなかったことでしょう。多感で成長著しいこの時期に、経験できるはずのことが出来ず、もどかしい日々が多かったと思います。しかしながら、時間は戻せません。高校生になった今、その分を取り返すべく、この三年間でたくさんのご経験を、学び、考え、大いに自分自身を成長させてほしいと思います。

本校は、大正十五年に創立され、今年九十六年目を迎える伝統ある学校です。女子教育に始まり、現在では男女共学として二十四年目を迎えます。金光教の教えを根幹に、「天地自然や自分を取り巻くすべての人々への感謝の念を持ち、自分を大切にし、他人を大切にし、将来、世のお役に立つ人間を育てるための教育を徹底する。」ことを建学の精神として、心の教育の柱としています。入学に際し、新入生の皆さんには、この建学の精神を心に留めておいてください。

私は、教員になって三十四年目、この学校に奉職して二十九年目の保健体育の教員です。小学生の頃、水谷豊さん主演の「熱中時代」というテレビドラマを観て、教員になりたいと思うようになりました。特に

何かをしたわけでもありませんが、運動が得意だったこともあり、小学校時代は自宅近くの陸上自衛隊駐屯地内にある道場で六年間柔道を習いました。週三回の稽古や冬の寒稽古などを通して、礼儀作法や忍耐を学びました。中学校から大学卒業までの十年間はバスケットボールを通じて多くのことを学び、たくさんの人に出会いました。中学・高校の恩師には練習から学校生活まで非常に厳しい指導を受けました。大学では体育大学特有の厳格な上下関係のもと四年間を過ごしました。楽しいことよりも、厳しく、辛く、悩む日々が多い十年間でしたが、そこで培われた経験が今日までの力となり支えとなっています。社会人になってからも、バスケットボールやクラブ活動、仕事を通じて、全国の多くの方々と繋がり、お世話になり、学び、助けていただいたことは大きな財産となっています。

新入生の皆さん、高校生活は将来の礎を築く上で大切な期間です。何かに打ち込むことによって、嬉しいこと、楽しいことだけでなく、辛く苦い経験もするでしょうが、その経験が成長の度合いを早めることにもなるでしょう。充実した時間が過ごせるよう日々の努力を惜しまないでください。

また、これまでと大きく変わったこともあります。「民法が一部改正」され、この四月一日に施行されました。大きな点は、成人年齢が諸外国並みに十八歳に引き下げられたことです。具体的には今後しっかりと学んでいくこととなりますが、二年後高校三年生の誕生日を迎えた時には、成人＝大人になるということを意識し、自覚してほしいと思います。そこには大きな責任が伴います。高校生活の間に社会へ出るために必要な人間形成・人間力を身につけるため、まず実践してほしい三つのことを申し伝えます。

一つ目は、基本的な生活習慣の確立です。コロナ禍で生活リズムが乱れていたり、スマホやゲームに多くの時間を費やしていたり、朝ご飯を摂らなかつたりしていませんか。今日が区切りの日です。規則正しい時間管理を心がけること、食事・睡眠をしっかりと摂り、欠席・遅刻するこ

となく学校生活を送るようになってください。授業に集中すること、また若いうちにしっかりと身体を動かすことも重要です。時間を無駄にしないように生活習慣を身につけてください。

二つ目は、高い規範意識と社会に通じる礼節を身につけることです。二年後には成人となります。社会のルール・学校のルール・公衆道徳を守ること。併せて、礼儀・挨拶・節度ある行動・言動を身につけてほしいと思います。日々徹底、実行してください。

三つ目は、聴く力を養うこと、自分で考える習慣を身につけることです。その力が、自分自身の能力・個性・長所を伸ばし、将来の夢や進路に繋がっていくことでしょう。以上、三つを心掛けてください。

今年に入り、世界では大変な出来事が起こりました。この現代において戦争が起こりうるのです。それによって多くの人々の生命が奪われています。こうして入学式を迎え、当たり前前のように高校生活が始まることのありがたさを噛みしめてほしいと思います。

人は誰しもが一人で生きていくことはできません。家族・親類・友人・学校の先生・先輩・後輩、多くの人のお陰で生かされていることへの感謝を忘れず、誰からも愛され、実りの多い高校生活となるよう願っています。

最後になりますが、保護者の皆様におかれましても、お子さまの高校三年間は、今後の人生において重要な時期となります。思春期の子どもを持つ悩みも尽きないでしょう。どうか、本校教職員を信頼していただき、相互理解を深め、共に大人として、時には見守り、時には厳しく接し、成長を手助けできる関係でありたいと願っております。これから三年間、様々な場面におきまして、ご理解とご協力の程宜しくお願い申し上げます。

令和四年四月五日

学校法人 関西金光学園 金光藤蔭高等学校

校長 武田 充広